

利用者様の声

1月のいつだつたか職員さんに声をかけてもらつて車に乗り外出しました。豊中から北へ車が走りました。いつの間にか、かに道楽につきました。そこはホテルのような立派な建物で今までに見たことのない板の間があつたり、魚が泳いでいる水槽があつたりしました。職員さんに車を押してもらい部屋へ入りました。皆でご馳走を楽しみに待つていると、まず前菜力二の造り、茶碗蒸し、グラタン天ぶら、お寿司、アイスクリームなど次々に出てきました。いつもより量が少なく、少し不満も残りましたが、その日は一緒に行つた利用者さんの一人が誕生日を迎えた。みんなで「おめでとう」と言い合いました。

これもいつだつたか、大阪城へ連れて行つていただきました。名古屋では金のシャチホコが有名ですが私たち大阪人は大阪城があることを誇りに思っています。

大阪城では、以前から食べてみたかった、たこ焼きをいただきました。食べながら、手品をされました。食べる方がいて、一生懸命見ました。昔、商売をしており内本町から馬場町まで行き、仕入れによく行きましたが、ビルが建ち、すっかり景色が変わってしまった事に大変驚きました。帰りの車中では周りの景色ばかり見て懐かしい思いと変わつてしまつた町並みに寂しさを感じながら、大変満足の外出となりました。



節分



2月の節分の日に食堂に集まり、鬼退治を行いました。利用者様が輪になり豆に見立てた新聞玉を持つと鬼がやつてきました。

「やつづけてやる」と、意気込む方や「恐いわ。辞めとこ」と言われる方々でした。鬼がやつて来ると両手一杯に持った豆を「このやろう。あつちいけ！」と投げておられました。鬼が逃げて行くと「逃げていったな」と皆様笑顔で見送つておられました。

暖かい日差しの中過ごしやすい季節になりました。そんな中、2階の利用者様スタッフ共に穏やかなほのぼのとした毎日を過ごしています。

「乗りや」「あんた車椅子
やから先に乗り」と声を掛け合つたり：食欲のない方には「しつかり食べ、私もこんなに食べたよ」と励ましあつたり：もちろんスタッフにも「最近太ったんちやう？」「あんたそろそろ嫁にいかなあかんなあ」等笑いのある会話が繰り広げられています。利用者様にとつて快適な生活を過ごして頂くのはもちろんのこと、「笑い」のある毎日であるように頑張つていきたいと思います。



かに道楽へ外食

今回の外食は皆様に力二を味わつて頂こうと、かに道楽（豊中店）へ行つてきました。当日、かに道楽へ行かれの方は昼食抜きで出発。「お腹がすいた～」「楽しみや～」と車中ではどの利用者様も終始笑顔。

到着後、店内に入つて驚きました。段差がほとんどなくバリアフリー化されていました。こういうお店が増えるのはとても嬉しいですね！

さてメニューを開くと力二づくし（当たり前ですが：）皆様お腹は空いているけど料理が決まらず、といった様子でした。食事が始まるともう夢中。出



食べ終わると「お腹一杯」と大満足の
ご様子でした。



編集後記

ユーフォリア豊中も4月で開設5年目となりました。私も介護の仕事を始めて4年になります。この施設と一緒に色々と勉強してきました。それまでは他業種についていました。介護職の良い点は、多々ありますが、この施設新聞のメイン記事にもなっている四季の行事をフルに味わえるところは特に気に入っています。普段の生活の中でも、花見はしても、文化祭、節分、納涼祭、クリスマス会なんて、あんまりしないですもんね」と。さて4月の行事は、もちろん桜の花見です。桜を見る事は日本人にとって特別な感じがしています。次号では花見の様子をお伝えします。

